

# かがわ医療福祉総合特区に取り組んで 多和薬局の例

NPO法人へき地とあゆむ薬剤師  
安西 英明



# 多和薬局: さぬき市多和助光東





多和小学校 跡



助光保育所 跡



多和診療所・多和薬局



# オープンな外観の 多和薬局



薬局内待合カウンター  
レセコン・薬剤管理指導用  
PC 2台



備蓄医薬品・ジェネリック  
医薬品も徐々に増加



複数錠剤の1包化で  
飲み間違いを防止



# 多和薬局（さぬき市多和助光東）

設立者：特定非営利法人へき地とあゆむ薬剤師

薬剤師：3人

事務員：1人

開局日：毎週火曜日、木曜日

開局時間：9時～14時

備蓄医薬品数：開局日103品目

その他：一般用医薬品、衛生材料販売

# 多和薬局 システム構成図(端末2台)

## ソフトウェア構成

ReceiptyNEXT Type2 2台構成

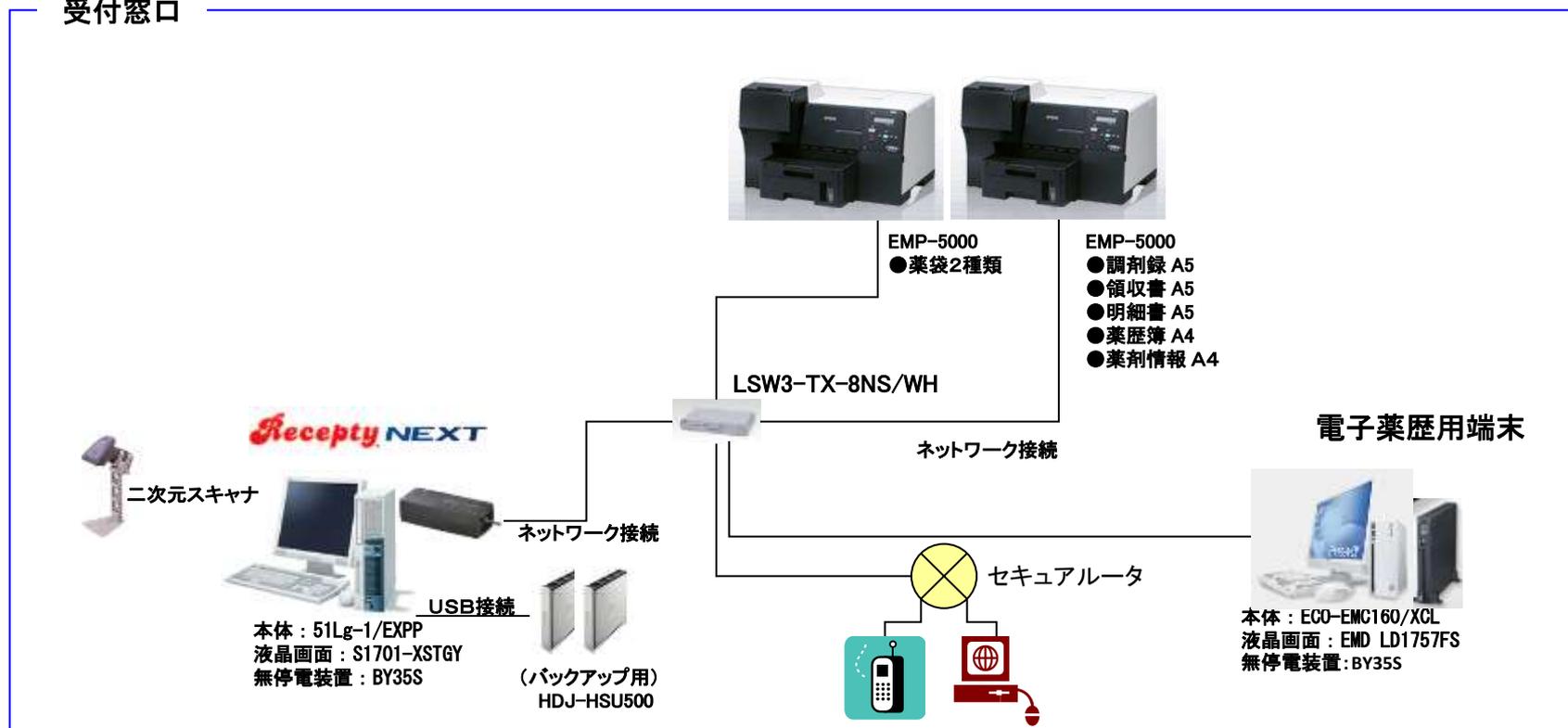
(電子薬歴機能有り・レセプト電算・オンライン請求・在庫管理標準搭載)

※二次元読み取オプション

★ソフト永年保証 (法・薬価改正及びハードトラブルに対応)

★バージョンアップ⇒自動配信

受付窓口



通報サービス オンライン請求・リモートサポート

# へき地薬局診療所の隣に

## 「医療サービス向上」 さぬきNPO開設



処方された薬を受け取る男性患者  
(左端)＝さぬき市多和助光東

さぬき市南部の多和地区に25日、週2日だけ営業する薬局が開業した。県が政府から認定を受けた総合特区の一環で、過疎地の医療サービス向上をめざす初の「へき地薬局」として高松市のNPO法人が開設した。

さぬき市多和助光東の元保育所の建物内に開業した「多和薬局」。同じ建物内には、さぬき市国民健康保険多和診療所が隣接する。薬局を開設したNPO法人「へき地とあゆむ薬剤師」(安西英明理事長)

は、民間では採算のとれない過疎地での医療サービスを充実させようと、県薬剤師会と徳島文理大香川薬学部有志が今年設立した。

多和地区内にあった診療所がこの建物に移転するのに合わせて、診療のある曜日だけ営業する薬局として開設した。後発医薬品(ジェネリック)など、処方する薬の種類を増やし、診療所の電子カルテを閲覧するシステムも近く稼働させる。薬を処方された地元の男性(86)は「バスとタクシーを乗り継いで遠くの病院に出かけなくてもいい」と喜ぶ。営業は火・木曜の午前9時～午後2時。薬剤師1人、2人と事務員が勤務する。問い合わせは多和薬局(0879・29・6978)へ。(細川治子)

# 近くに薬局安心・便利

国の指定を受けて県が進めている「かがわ医療福祉総合特区」の取り組みとして25日、さぬき市多和地区に「へき地薬局」がオープンした。県薬剤師会と徳島文理大香川薬学部有志が新設したNPO法人「へき地とあゆむ薬剤師」(安西英明理事長)のメンバー約20人が交代で従事し、これまで薬局のなかった同地区で、より便利で安全・安心な投薬環境を構築する。



保育所跡の施設に整備された「へき地薬局」  
—さぬき市多和地区

## さぬき・多和にオープン 県特区事業、地域の拠点に

同特区での薬局開設は初めて。薬局は旧長尾保育所分園助光保育所の跡地利用の一環で、市が診療所と出張所を移転・整備したのに合わせ、NPO法人が同一建物内に開設した。

同地区ではこれまで、診療所での院内処方によって大部分を頼っていたが、薬局の開設で院内処方より豊富な種類を投薬できるほか、薬剤師による専門性の高い服薬指導なども行えるようになる。また、ジェネリック医薬品(後発薬)の利用促進や一般医薬品(大衆薬)の販売も可能となり、医療費の削減や住民の利便性向上にもつながるといふ。

同特区は、県が昨年9月に国へ申請、同12月に指定された。遠隔医療システムを活用した県全域の医療水準の向上や島しょ部、へき地などの医療の確保などが大きな柱で、へき地薬局開設に不可欠な薬局管理者の従事制限などの規制緩和策が盛り込まれている。

この日、市診療所、出張所と合同開所式があり、大山市長は「地域の生活の質を上げていく第一歩。必要な機能を凝縮したこの施設が地域の拠点となることを期待する」と述べた。

薬局は診療所の診察日に合わせ、毎週火、木曜の2日間営業する。

H25.1.26 日経

### 遍路道 願い結ぶか、へき地薬局

「へき地薬局」。香川県さぬき市の多和地区にこんな名称の薬局が1カ月前、開業した。約500人の集落で、約4割は65歳以上という過疎と高齢化が進む地区。薬局は、敷地内にある診療所と連携、NPO法人「へき地とあゆむ薬剤師」(安西英明理事長)が運営している。

これまでも診療所の院内処方では医師から提供されていたが、種類が限られるなどの難点があった。今回、医療福祉総合特区の認定を受けたことなどで、薬剤師がいる薬局開設が可能になり、例えば同じ降圧剤でもより患者の症状にあった薬や、安価なジェネリック(後発薬)も用意できる。将来的には高齢者宅などへの薬の配達も検討する。この薬局が成功すれば、同じように医療過疎に悩む島しょ部などへの導入も期待できるといふ。

へき地薬局は四国霊場最後の88番札所、大津寺への遍路道沿いにある。「結願の寺」へと向かう地での今回の取り組み。特効薬とはいかなくても、過疎地医療の充実という関係者の願いを結ぶ拠点になれば、と祈る。



県高所代った建物を利用し、設置された



香川県山間部に「へき地薬局」開設

「医療福祉総合特区」事業の一環として、香川県山間部に「へき地薬局」が開設された。この薬局は、高齢化が進む山間部で、高齢者の生活を支える役割を果たす。また、地域の医療・福祉サービスの向上にも貢献する。この薬局は、香川県山間部の中心地である香川郡大内町の中心部に設置された。この地域は、高齢者の割合が高く、医療・福祉サービスの需要が高まっている。この薬局は、高齢者の生活を支える役割を果たす。また、地域の医療・福祉サービスの向上にも貢献する。

# 香川県山間部に「へき地薬局」開設

## 「医療福祉総合特区」事業の一環



個人経営の薬局では難しかったが、へき地薬局にすることで、高齢者の生活を支える役割を果たす。また、地域の医療・福祉サービスの向上にも貢献する。この薬局は、香川県山間部の中心地である香川郡大内町の中心部に設置された。この地域は、高齢者の割合が高く、医療・福祉サービスの需要が高まっている。この薬局は、高齢者の生活を支える役割を果たす。また、地域の医療・福祉サービスの向上にも貢献する。

# NPO法人「へき地」とあゆむ薬剤師

個人経営の薬局では難しかったが、へき地薬局にすることで、高齢者の生活を支える役割を果たす。また、地域の医療・福祉サービスの向上にも貢献する。この薬局は、香川県山間部の中心地である香川郡大内町の中心部に設置された。この地域は、高齢者の割合が高く、医療・福祉サービスの需要が高まっている。この薬局は、高齢者の生活を支える役割を果たす。また、地域の医療・福祉サービスの向上にも貢献する。



同じ建物内の奥から開く診察所の診察日に合わせて、毎週火、水曜日に営業している。この薬局は、香川県山間部の中心地である香川郡大内町の中心部に設置された。この地域は、高齢者の割合が高く、医療・福祉サービスの需要が高まっている。この薬局は、高齢者の生活を支える役割を果たす。また、地域の医療・福祉サービスの向上にも貢献する。

薬事日報  
平成24年4月3日  
m3.com  
医療維新・ニュース  
平成24年4月8日

# 多和薬局業務集計

年月	開局日数	処方せん枚数	1日処方せん枚数	疑義照会件数	ジェネリック使用状況
平成24年 11月22日～	3日間	11枚	2枚～6枚	6件	8.8%
平成24年 12月	8日間	88枚	4枚～23枚	18件	11.2%
平成25年 1月	8日間	90枚	2枚～25枚	14件	15.7%
平成25年 2月	8日間	96枚	2枚～23枚	18件	14.9%
平成25年 3月	8日間	92枚	2枚～22枚	5回	16.0%
平成25年 4月16日まで	5日間	66枚	1枚～24枚	5回	15.0%

# 患者への薬剤師の関わり

医師の処方範囲の拡大

採用薬103品目→140品目（診療所：66～88品目）

疑義照会：

薬剤の追加

投与量の変更

NSAIDsの重複 一方の中止

剤型の変更 飲みやすさ

使用部位の確認 パップ剤、テープ剤、点眼剤等

患者相談事項：

内服薬飲み方の確認

糖尿病患者 食事の摂り方 パンフレットを取り寄せ説明

リウマチ薬の相談

使っている市販薬の相談

使用している薬について相談をされていく方が増えている。

滅菌ガーゼ、マスク、カイロ、入れ歯洗浄剤など販売

# 【参考】かがわ医療福祉総合特区について

かがわ医療福祉総合特区（地域活性化総合特区）においては、平成23・24年度に香川県において実施している総務省「健康情報活用基盤構築事業」にて構築した情報連携活用基盤を用いた処方情報の電子化及び医療機関・薬局間の連携を、条件不利地域とされる島しょ部・へき地において導入することでもたらされる効果を検証し、島しょ部・へき地が抱える問題を解決するための情報連携のあり方について、検討を行う。

## かがわ医療福祉総合特区「くすり・医薬連携」事業

### 【へき地診療】



電子カルテ

処方指示情報  
患者背景情報  
調剤実施情報  
服薬情報

### 処方情報の電子化事業

処方箋ASP

服薬情報  
調剤実施情報

服薬管理サービス (PHR)

### 【データセンター】



### 【へき地薬局】



調剤レセコン

処方指示情報  
患者背景情報  
調剤実施情報



### 【へき地対応薬局】

受診

### 地域ICT利活用モデル構築事業

TV会議システム (ドクターコム)

遠隔服薬指導

服薬情報  
調剤実施情報

自宅PC/モバイルPC

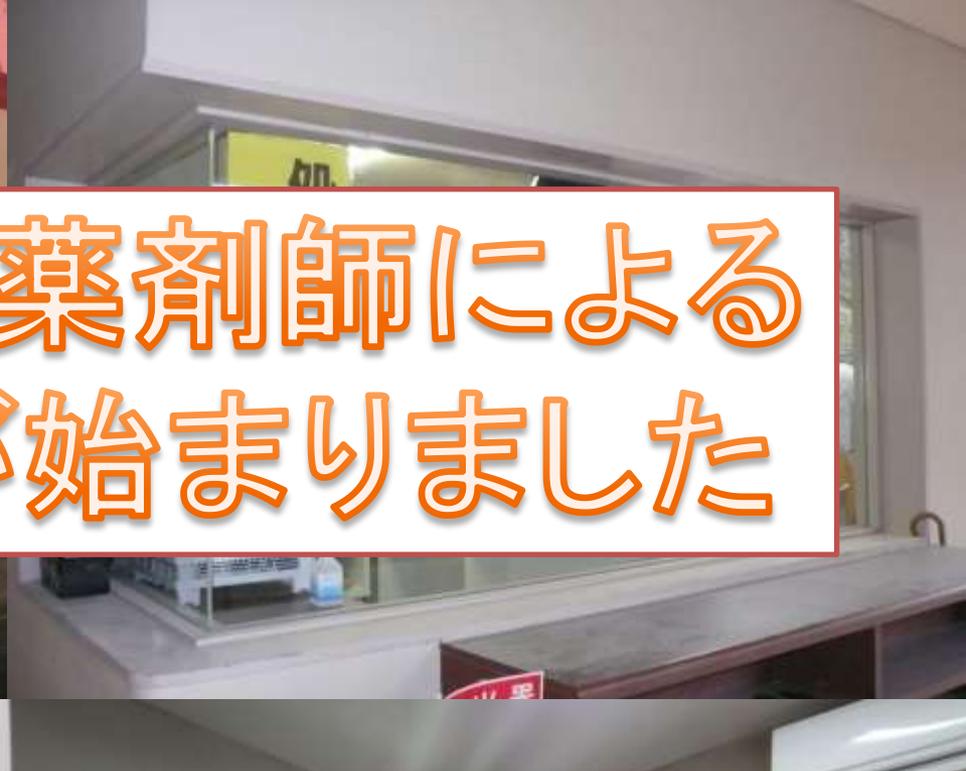
へき地患者  
薬交付

対面服薬指  
対面薬交付

### 【へき地患者】

# 多和薬局の今後の展開

- 処方情報電子化による医薬連携の継続・実践
- より適切な服薬指導で安全な薬物療法の確保
- 「おくすりの使い方」等地域住民の方々への教室  
開講
- 在宅患者への訪問（くすり管理・衛生管理）
- 週2日以上の開局（処方せん受付、お薬相談）で  
より身近な薬局・薬剤師へ
- 香川薬学部薬学生のへき地薬局体験実習への協力
- 地域交流活動への参加・協力
- 「NPO法人へき地とあゆむ薬剤師」会員（個人・団  
体）賛助会員（個人・団体）の募集及び寄付金の募集



多和薬局から薬剤師による  
へき地医療が始まりました

NPOへき地とあゆむ薬剤師  
宜しくお願いいたします

